

「若田宇宙飛行士アカデミー スペースコース」開講式 教育長挨拶

令和3年7月24日

青少年宇宙科学館

令和3年度「若田宇宙飛行士アカデミー スペースコース」の開講に当たり、ひとこと御挨拶申し上げます。

さいたま市教育委員会では、令和元年に、「宇宙のまち さいたま」を宣言し、「宇宙時代をたくましく生き 未来を創造する人」の実現を目指して、「宇宙のまち さいたま」教育プロジェクトを策定いたしました。具体的には、「若田宇宙飛行士アカデミー」をはじめとする様々な事業を通して、「宇宙や科学技術への夢や希望を育む教育」を推進しているところです。

さて、2021年秋、13年ぶりにJAXAで宇宙飛行士が募集されます。JAXAは、1983年からこれまでの間、宇宙飛行士の募集を5回行い、合計11名の宇宙飛行士を宇宙へと送り出してきました。その中の一人である本市が誇る若田光一宇宙飛行士は、日本人では最多となる4度の宇宙飛行を経験されています。そして、2022年頃には5度目のフライトミッションの実施が発表され、「若田宇宙飛行士の3度目の国際宇宙ステーション長期滞在」というニュースは、皆さんの記憶に新しいのではないのでしょうか。

さらに、JAXAがNASA主導の月面開発計画である「アルテミス計画」へ参画することが決定し、今や、宇宙飛行だけではなく、宇宙開発にも熱い視線が注がれています。この計画は、月面だけでなく、月周回軌道に有人基地を建設し、将来的には火星にも旅立とうとする壮大なプロジェクトです。

一方で、運用を終えた人工衛星などが、宇宙ごみとなる「スペースデブリ」が問題となっています。そのスペースデブリの除去に積極的に取り組んでいるのが「アストロスケール社」という日本の企業です。アストロスケール社は今年の3月23日に、世界で初めてスペースデブリを除去する衛星を打ち上げました。持続可能な宇宙環境を目指して、日本の技術が世界をリードしようとしています。今回のスペースコースでは、アストロスケール社の方から直接お話を聞くことができる講座があると伺っております。ぜひ最先端の宇宙・科学技術を皆さんの瑞々しい感性で受け止めて下さい。

この「若田宇宙飛行士アカデミー スペースコース」を通して、皆さんの宇宙や科学技術への夢と希望がさらに大きくなり、若田宇宙飛行士のように宇宙時代をたくましくリードする方がこの中から誕生することを心から願い、私の御挨拶といたします。